平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名　北越メタル株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5446　URL　http://www.hokume.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 住田　規
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長　(氏名) 米山　克已　TEL 0258-24-5111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日　配当支払開始予定日　平成24年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,333	△4.0	299	886.7	303	763.0	167	—
24年3月期第2四半期	10,766	11.3	30	—	35	—	△2	—

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　95百万円　(—%)　24年3月期第2四半期　△60百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.43	—
24年3月期第2四半期	△0.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,053	13,946	57.4
24年3月期	25,159	13,941	54.9

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　13,815百万円　24年3月期　13,810百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
25年3月期	—	2.00			
25年3月期(予想)			—	3.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,350	△6.5	550	△3.7	540	△4.8	300	4.3	15.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
※「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	19,970,000 株	24年3月期	19,970,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	112,288 株	24年3月期	112,066 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	19,857,839 株	24年3月期2Q	19,913,854 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……3
４．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などを背景に、緩やかに回復の兆しが見られたものの、欧州債務問題による世界景気の減速、長期にわたる円高や電力供給の懸念などにより、本格的な回復には繋がらず、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連業界におきましても、震災復興関連の公共投資は伸びたものの、人員不足等による建設工事の遅延などから、鋼材需要の大幅な伸びには至りませんでしたが、主原料である鉄スクラップ価格が安価となったことから、収益は改善しました。

当社といたしましては、本年４月から新たにスタートした改善活動「ＡＣＣ1000」を主体に全社一丸となって取り組みました。

販売面では、主力の異形棒鋼などは、顧客訪問に注力した営業活動を展開し、販売数量の確保に努めてきました。

また、コスト面では、電力などのエネルギーコストが上昇するなかで、コスト低減と品質向上を目指し、改善活動に鋭意努力しました。

その結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は10,333百万円（前年同四半期比4.0％減）、経常利益は303百万円（前年同四半期35百万円の経常利益）、四半期純利益は167百万円（前年同四半期2百万円の四半期純損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,105百万円減少して、24,053百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金の減少（前連結会計年度末比860百万円の減少）により、流動資産が前連結会計年度末に比べ963百万円減少して、15,388百万円になったことや、保有有価証券の株価の下落に伴う投資有価証券の減少（前連結会計年度末比103百万円の減少）により、固定資産が前連結会計年度末に比べ141百万円減少して、8,665百万円になったことによるものであります。

② 負債

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,110百万円減少して、10,106百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金の減少（前連結会計年度末比508百万円の減少）により、流動負債が前連結会計年度末に比べ810百万円減少して、8,499百万円になったことや、長期借入金の減少（前連結会計年度末比324百万円の減少）により、固定負債が前連結会計年度末に比べ299百万円減少して、1,607百万円になったことによるものであります。

③ 純資産

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ５百万円増加して、13,946百万円となりました。

また、自己資本比率については、前連結会計年度末の54.9％から2.5ポイント増加して、当第２四半期連結会計期間末には57.4％となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回予想（平成24年８月１日）から修正しておりません。

なお、この判断は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

従って、今後の主原料である鉄スクラップ価格や鋼材市況等の変動により、業績予想値が変わる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社の連結子会社の一部は、従来、建物を除く有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、子会社における経済的便益の消費パターンを考慮した上で、より合理的な減価償却方法を採用すべく検討した結果、製品の安定した需要により、生産設備等の安定的な使用が見込まれることや、主要設備の陳腐化のリスクが低く、設備維持コストは毎期概ね定額的に発生していることから、今後の設備投資効果は耐用年数にわたり平均して発現すると想定されるため、減価償却方法を定額法に変更することで、より合理的な費用配分が可能になると判断したため行うものであります。

この変更により、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ8,291千円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,673,343	4,876,748
受取手形及び売掛金	5,782,017	4,921,975
電子記録債権	1,366,364	2,340,360
商品及び製品	2,026,934	1,987,108
仕掛品	76,864	61,090
原材料及び貯蔵品	1,267,832	1,019,830
繰延税金資産	155,277	170,719
その他	36,240	46,506
貸倒引当金	△32,812	△36,099
流動資産合計	16,352,063	15,388,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,164,757	8,187,350
減価償却累計額	△5,085,889	△5,176,897
建物及び構築物（純額）	3,078,867	3,010,453
機械装置及び運搬具	19,055,304	19,165,821
減価償却累計額	△16,556,001	△16,687,215
機械装置及び運搬具（純額）	2,499,303	2,478,605
工具、器具及び備品	1,855,769	1,842,534
減価償却累計額	△1,601,508	△1,581,416
工具、器具及び備品（純額）	254,261	261,117
土地	1,797,188	1,782,632
リース資産	55,231	89,965
減価償却累計額	△16,006	△21,511
リース資産（純額）	39,224	68,453
建設仮勘定	－	670
有形固定資産合計	7,668,844	7,601,932
無形固定資産		
ソフトウエア	10,789	9,133
その他	3,785	3,868
無形固定資産合計	14,574	13,002
投資その他の資産		
投資有価証券	844,853	741,246
繰延税金資産	210,103	240,867
その他	85,635	85,320
貸倒引当金	△17,023	△17,023
投資その他の資産合計	1,123,569	1,050,412
固定資産合計	8,806,988	8,665,347
資産合計	25,159,051	24,053,586

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,315,365	5,806,502
短期借入金	2,363,240	1,969,683
未払法人税等	50,039	128,927
その他	581,526	594,261
流動負債合計	9,310,171	8,499,374
固定負債		
社債	150,000	150,000
長期借入金	981,886	657,303
退職給付引当金	600,246	635,829
役員退職慰労引当金	151,117	114,380
資産除去債務	6,397	6,433
その他	17,634	43,571
固定負債合計	1,907,282	1,607,518
負債合計	11,217,454	10,106,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,969,269	1,969,269
資本剰余金	1,399,606	1,399,606
利益剰余金	10,403,609	10,481,687
自己株式	△22,779	△22,814
株主資本合計	13,749,705	13,827,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,684	△12,435
その他の包括利益累計額合計	60,684	△12,435
少数株主持分	131,206	131,378
純資産合計	13,941,597	13,946,693
負債純資産合計	25,159,051	24,053,586

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	10,766,229	10,333,999
売上原価	9,514,188	8,804,433
売上総利益	1,252,040	1,529,565
販売費及び一般管理費	1,221,643	1,229,635
営業利益	30,397	299,929
営業外収益		
受取利息	316	374
受取配当金	17,138	18,034
貸倒引当金戻入額	399	－
その他	18,637	12,569
営業外収益合計	36,492	30,978
営業外費用		
支払利息	24,716	21,915
手形売却損	679	592
その他	6,346	5,069
営業外費用合計	31,742	27,578
経常利益	35,147	303,330
特別利益		
固定資産売却益	1,128	4,581
保険解約返戻金	－	1,158
受取保険金	24,236	－
特別利益合計	25,364	5,740
特別損失		
固定資産売却損	1,634	8,274
減損損失	8,051	14,556
固定資産除却損	2,728	10,090
ゴルフ会員権評価損	－	978
特別損失合計	12,414	33,898
税金等調整前四半期純利益	48,097	275,171
法人税等	46,114	106,480
少数株主損益調整前四半期純利益	1,982	168,691
少数株主利益	4,711	1,252
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△2,728	167,439

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,982	168,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,307	△73,120
その他の包括利益合計	△62,307	△73,120
四半期包括利益	△60,324	95,571
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△65,036	94,319
少数株主に係る四半期包括利益	4,711	1,252

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。